

【別添2】（様式例2）

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号 58

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	生徒指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果から 「本校では、他者を思いやり、感謝の気持ちを育てる教育が行われている。」（肯定評価の割合：生徒91%） 「本校では、高校生としてマナーや社会的規範を身に付けさせるための指導を行っている。」（肯定評価の割合：生徒95%）	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 協調性や思いやりがあり、心豊かで規律正しい人間形成に努めます。 (2) コミュニケーション能力を高め、積極的に行動できる資質を養います。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・企画委員会を中心に、縦と横の連携を大切にして、一枚岩、風通しの良い組織とする。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 自ら進んであいさつができ、周囲に対する気配りができる人になれるよう、生徒会、MSリーダーズと連携していきます。 (2) 社会に貢献できるMSリーダーズ活動などのボランティアを、自分たちで企画、運営することができるよう、働きかけをします。	(1) あいさつに対して意識、行動が高まったか評価する。（職員、生徒の自己評価） (2) MSリーダーズ活動が、参加生徒にとって達成感、充実感のあるものであったか評価する。（参加生徒の自己評価）	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・自ら進んで挨拶できるように、MSリーダーズや生徒会と協力して活動した。 ・MSリーダーズ活動で、生徒が自分たちで企画し活動する試みを、実施できた。 ・生徒に自己有用感を感じさせることができた。	① 自ら進んで挨拶できる生徒が少し増加した。 ② 自分たちで企画し、活動することで、気づきが起きた。 ③ 心の醸成につながった。	A B C D A B C D A B C D
11 成果・課題	○MSリーダーズの力を借りて、自ら進んで挨拶することを前面に出した。育友会の方や生徒会役員もあいさつ運動を実施してくれ、生徒の意識が高まった。 ○MSリーダーズがグループごとに、自ら企画、活動することで、自主的、前向きなボランティアが大幅に増加し、生徒の心の醸成につながった。 ▲自主的なボランティアが、校内でのものが多く、地域の役に立つ活動はあまりできなかった。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・挨拶がさらに活性化するよう、推進週間の取り組みを改善する。また、気配りができる人づくりにつなぐために、新たな発信をしていく。 ・自主的なMSリーダーズの活動が、地域の役に立つ内容になるよう、生徒の自主性を引き出しながらアドバイスや情報提供をしていく。生徒にさらなる満足感や充実感を与える。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年1月26日

【意見・要望・評価等】

- ・生徒たちは、外部の者等が学校を訪れると、気持ちよく挨拶してくれる。
- ・行事において、生徒が生き生きと活動し、大所帯なのにしっかりと指導されていて、教育が行き届いていると思われる。